

# 文京区立第九中学校 校長室通信

## 「文京九中 ここにあり」



平成30年度 第6号  
平成30年12月25日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝  
■ TEL 03-3821-7178 ■ FAX 03-5685-4955  
■ H P <http://www.bunkyo-kyu.ed.jp/daikyuhj/>

### 第二期快適化工事が完了しました

夏季休業日から開始した第二期快適化工事が終了しました。予定より工期が延びてしまい、生徒、保護者、近隣の皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。西側トイレも完成し、廊下、階段のリニューアルとあわせ、とてもきれいになりました。来年度に実施予定の西側階段、新館廊下・階段の工事をもってすべて完成となります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。



廊下



階段



西側トイレ

### 「安政年代駒込富士神社周辺之図」 図説を寄贈していただきました

前神明西部町会長 中村進 様より「安政年代駒込富士神社周辺之図」図説を寄贈していただきました。お心遣いに心から感謝を申し上げます。これは、約160年前の江戸末期の頃に描かれた図を解説したもので、とても興味深い資料です。学校のためにご丁寧にA1サイズに拡大してお持ちくださいました。この図には、「富士大権現（富士神社）」「神明宮（天祖神社）」をはじめ、旗本の下屋敷や現在もあるお寺などの名称も見受けられます。写真のようにパネルに入れて職員室前に飾ってありますので、ご来校の機会にぜひご覧ください。



### 「ふくのわプロジェクト」にご協力いただき、ありがとうございました

10月27日（土）に開催した学習発表会の日で開催した「ふくのわプロジェクト」では、衣服のリユースでパラスポーツを応援するという趣旨に賛同し、多くの皆様にご協力をいただきありがとうございました。おかげさまをもちまして254kgの衣服が集まり、12月6日（木）に業者に引き取っていただきました。オリンピック・パラリンピック教育、環境教育の一環としても価値がある活動でした。全面的にご協力いただいた学校支援地域本部、PTA役員の皆様から感謝を申し上げます。



## オープンキャンパス 「生徒の感想」の紹介

### ■ 10月13日（土） 道徳授業地区公開講座「努力とあきらめない心の大切さ」

#### パラリンピアン（視覚障害者柔道） 初瀬勇輔 さん

- ・ 私は、「失ったものを数えるより、残されたものを最大限生かす」という言葉が印象に残りました。この講演会ではポジティブなことをたくさん聞いて、初瀬さんに障害があるということをおぼえてしまうくらいでした。
- ・ 目標があり、好きなことがあれば何でも積極的に取り組めるという内容にとってもひかれました。初瀬さんを手本に私も文武両道になれるように頑張ります。
- ・ パラリンピックの映像を見て感動しました。自分のできることに一生懸命努力する姿をみて、とてもカッコイイなと思いました。
- ・ あと1週間で、私は部活を引退しますが、もう終わるからといって最後まで気を抜かず、初瀬さんのようにスポーツができるということにありがたみを感じ、楽しんで挑戦していきたいです。



講演会



交流稽古



柔道部員との記念撮影

### ■ 11月10日（土） 日本の伝統・文化「能」を学ぶ教室

#### シテ方 観世流能楽師 鶴澤光 さん ・ 囃子方 太鼓方金春流 姥浦理紗 さん

- ・ 囃子は、ただ打つだけではなく、掛け声や動作にもきまりがあり、現代の音楽やBGMとは大きく違うと感じました。
- ・ 今回は学校の小さな舞台でしたが、今度は大きな舞台を見に行こうと思います。
- ・ 私たちも自国の文化を伝えるために、まずその文化を知る必要があると感じました。
- ・ 若い人たちは、能などの昔から伝わる文化にあまり興味のない人が多いと思いますが、ここで途切れてしまわないように、少しでも多くを知り、多くを次の世代に伝えられるようにしたいです。
- ・ 江戸時代から受け継がれてきた伝統的な文化はたくさんあるけれど、これからもすたれずに受け継がれていくためには、自分たちが文化の橋渡しとなる必要があると感じました。



能面の紹介・解説



謡の体験・指導



太鼓の体験・指導

## 九中の特色！「新聞への意見文」投稿 ～ 2学期掲載分の紹介～

※ 産経新聞「ひこばえ倶楽部」 平成30年10月15日（月）掲載

### 座禅で成長実感した修学旅行

中学生 伊関 万結（15） [3年3組]

奈良と京都を訪れた修学旅行で、とても貴重な経験をし、一生の思い出をつくることができた。

薬師寺（奈良市）で聞いたお坊さんの話はとてもわかりやすく面白かった。

修学旅行でこの地に来ることができたのは、両親や先生方など目に見えない陰の部分で自分を支えてくれている「おかげさま」がいるからだと教えられた。いつも「おかげさま」に感謝して生きていくべきだということも学んだ。

あたりまえというものはない。必ず誰かが苦勞している。だから私のために働いてくれている人、支えてくれている人に感謝することの大切さを思い知った。

建仁寺（京都市）では座禅を組んだ後、お坊さんの話を聞いた。座禅により自分の都合で善悪を判断する心を捨て、ありのままの自分で周りの心を見ることができるようになると思う。

だから機会があるときに座禅を組み、きれいな心を保てるようにしたい。

※ 東京新聞「ミラー」 平成30年10月19日（金）掲載

### すてきな京都楽しめた

中学生 坂本 華奈（14） [3年2組]

修学旅行で京都を訪れた。私は京都があんなにもすてきな街だとは思わなかった。日本文化の良いところがすべて詰まっているようだと思った。

中でも一番気に入ったのは南禅寺だ。正直、何の予習もしていなかった私は、南禅寺に何があるのかも知らないままお寺を訪ねた。だから「これが教科書で見たあれだ～！」というような感動はもちろんなかったが、それとは違う感動を覚えた。

雨上がりのしっとりとした空気に包まれたお寺。人けのない落ち着いた静けさの中、時々聞こえてくる木々のざわめきや小鳥たちの鳴き声は、まさに風情を感じさせるものだった。

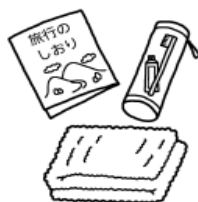
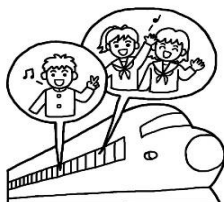
そこは、金閣寺や銀閣寺などの有名な観光地のにぎわいや、東京の都会の雑踏からかけ離れ、心に安らぎをもたらしてくれる場所であった。

東京という街は確かに便利な一面もあるが、どこか窮屈だったのだと思う。だからこそ、京都のお寺に来てみて、非日常の体験をしたことが私にとって大きなプラスになったように感じる。

また機会があれば、近いうちに再び京都を訪れ、今回行くことができなかった寺社なども訪れてみたい。

私はこの修学旅行がとても楽しかったし、学べることがたくさんあって成功だったと思っている。成功の定義は人によって違うと思うが、きっとこれは誰にとっても一生の思い出に残る旅行だったのではないかと感じている。

最後に、私たちの修学旅行を支えてくださった全ての人に感謝したい。



※ 毎日新聞「みんなの広場」 平成30年10月23日（火）掲載

### 修学旅行で学んだ「おかげさま」

中学生 稲吉 ふく（15） [3年3組]

奈良、京都への修学旅行の3日間、たくさんの世界遺産や文化的に価値のあるものを見て歴史をより深く実感することができた。教科書などで見るのとは違う、実物を間近で見るとの大切さを知った。さらに、修学旅行で学んだことがある。それは「おかげさま」への感謝だ。薬師寺のお坊さんが、「今日ここまで来るのに、いろいろな人に関わってもらったでしょう。そういうように陰でみんなのためにしてくれる人のことを『おかげさま』と言います」と話した。

修学旅行に行くために先生や家族、たくさんの方が関わっている。生まれたときから、生まれてくる前からたくさんの人に関わってもらって今の「私」がいるのだ。受験生の私は、今まで以上に支えてもらっていると思う。教えてくれる先生や励ましてくれる家族、頑張ろうと共に努力する友達。他にもたくさんの人たちに助けてもらっている。感謝の気持ちをもって「おかげさま」を忘れずにいようと思う。

※ 東京新聞「若者の声」 平成30年11月2日（金）掲載

### 予想を裏切り 修学旅行充実

中学生 渡邊 里琉（15） [3年2組]

修学旅行は正直、期待していなかった。私は友達が多くないから、楽しもうと思えなかった。だが、新幹線に乗って湧いてきたワクワク感。班で見学した金閣寺の神々しい雰囲気、八ツ橋やそばの味など、全てが私の体に残っている。

事前学習の場所を実際に訪れ、伝統文化を体験することも目的だった。私は焼き物を体験したが、なかなか難しかった。座禅体験はお寺の空気によって精神が清められた。どれも初めての貴重な体験だった。

これからもっと外国人が日本に来て、歴史的建造物を訪れるだろう。私たちはそれを守る義務がある。そのために行えることは何かを考え、実行していこうと思った。

※ 産経新聞「ひこばえ倶楽部」 平成30年11月19日（月）掲載

### 全力でやり尽くせた3年間

中学生 武田 樹（15） [3年1組]

あっという間に終わってしまった学習発表会。クラスでの合唱練習や展示委員の仕事などどれも大変だったが楽しかった。自分自身もクラス全体も真剣に練習に取り組んできた。その努力はきっと多くの人に伝わったと思っている。

僕は1年生のときから学習発表会の実行委員を務めてきた。3年生で最後となった今年は、これまで以上に頑張ろうという気持ちでいた。ものづくりが好きな僕は完成作品を展示し、多くの人に見てもらえるのがとてもうれしいことだと思っている。他の人の作品を見るのも面白いと感じている。

今まで運動会と学習発表会で一度も優勝や金賞を取ったことがない。でも一度も後悔したり嫌な気分になったりしたこともなく、「全力でやり尽くせた」という良い気分になれる。

高校に進学しても、勝ちに集中して楽しむことや他を見ることを忘れずに挑んでいきたい。この3年間、どの行事も最高だった。